

青森家庭少年問題研究会では、25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、ひとり親家庭の子どもたち12人を対象に、ボランティアとして登録してくれた県立保健大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて1対1で勉強を教えています。

■新しい仲間が増えました。

昨年度の中学校3年生の大半が学習会を卒業したことで、平成28年度は、小学生2人、中学1年生2人、2年生2人、3年生2人、高校生3人の11人でスタートしました。7月からは、最年少の小学校4年生の男の子が参加となり、全部で12人となりました。

中3生、高3生は、進学に向け、これから受験モードに入りますが、学習会では、一人ひとりの希望やペースに合わせて、無理のない支援を行って行きます。



■スポーツ交流・お花見会を行いました。

4月23日は、県立保健大学の体育館で、学生さんと子どもたちのスポーツ交流を行

いました。今回は、ソフトフリスビーを使った「ドッチビー」というニュースポーツも取り入れ、年齢や性別など体力にあまり左右されず、みんなが楽しめる競技を盛り込んでみました。



また、4月30日には、「弘前サタ☆くら」の招待を受け、子どもたちと一緒に、電車で弘前公園にお花見に出かけました。ゲームをしながら、「弘前サタ☆くら」の子どもたちや弘前大学の学生さんと交流できたほか、公共交通機関の利用の仕方、お小遣いの使い方も学習でき、有意義な体験となりました。

今年度も、学習会活動の合間を縫って、母子寡婦福祉会の行事へ参加するほか、「サタ☆くら」主催の行事にも取り組んで行きます。

=====

★学習支援の申し込み★

学習支援申込は随時受付しています。

- ・対象は小学生・中学生。
- ・申込のお問合せは、青森県母子寡婦福祉連合会（電話017-735-4160）あて。
- ・学習費用は無料。初回時のみ登録料として子ども1人500円お願いします。
- ・なお、学生ボランティアの数により、申込をお断りする場合があります。